

# 潮 流

6月～9月のメモ  
~~~~~

活動メモ  
機関誌・紙／自主流通誌・紙  
新刊書籍

構成・戸駒恒世

## 活動メモ

- 6・8 東京地区月例交流会 テーマ／7  
月参院選をめぐって
- 7・5 19 ベネズエラ在住の亡命スベ  
ン人アナキスト ヴィタトル・グ  
ラシア氏来日し各地で交流
- 7・6 東京地区月例交流会 テーマ／選  
挙について
- 7・6 7 石川文庫整理の会合
- 7・28 8・4 日本アナキズム研究セン  
ター 夏のセミナーとキャンペ  
ン
- 8・13 エンリコビルでエスベラント講習  
会はじまる(東京)

8・15 東京地区月例交流会

8・28 30 日本無政府主義者連盟結成の  
問題についての合宿(京都)

9・15 16 リベルテール、アナキズム、  
イオム三誌を中心とする交流会

(富士宮)  
赤川啓来氏死去。

機関誌・紙／自主流通誌・紙

6月

▽恐しい事は起ってしまった 1号(愛知  
恐起社)

▽野中の一軒家 15号(多摩市一の宮八九  
五―二〇一号野中の一軒家)「グスタフ

ランダウアのロマン主義的社會主義」ユ  
ージンヌ・ラン

▽サルートン通信 162号(大阪市阿倍野区  
旭町一―二二泉原文化内 向井孝

「助ッ人同盟参加のすすめ」

▽長野共同新聞 18号(長野中央局私書箱  
六二二号)「自衛隊慰問拒否の立場とは何  
か」

▽月報「岩佐作太郎遺稿集刊行会」 1号  
(東京)「岩佐作太郎の思想的特質」信

太裕

▽リベルテール 6号(東京・練馬区大泉  
学園町二一九〇萩原晋太郎方 リベルテ

ールの会)「構造主義と科学的アナキズ  
ム」塩長五郎

▽サルートン通信 164号

▽不定期便 8号(東京・文京区春日一―  
二七―五〇六 ひろせしんじ&ひろの  
みえこ) 米二人の個人紙(?)

▽交流会通信 4号(東京地区月例交流会)

「金憲基さんに特別在留許可を」「八木  
竜実君に支援を」

▽浦和市民新聞 13・14合併号(浦和市岸  
町四―二四―一五 同社)「だからセク  
トはだめなんだ」

▽無政府主義研究 2号 (東京・豊島区高田三—三八—二三高田ハイッ二〇六号玄曜社) 「アナキズムと革命原理」 塩谷雄高

「ハ壤夷論」と西欧」片岡啓治  
▽哇ウエオ個人詩 3号 (練馬区上石神井一—七四〇 人間社)

▽黒の手帖 17号 (東京・新宿区北山伏町三三大沢方 黒の手帖社) 「ランダウア—・生涯と思想」長谷川進

7月  
▽黒旗の下に 2号 (東京・文京区後楽二—七—五啓衆ビル四階ランチョ 気付)

「赤と黒との対決」白井新平  
▽サルートン通信 163号 「家について」

「らくがき」10号 (堺市西野三九七松美荘8号 井上英一) 木個人詩(?)

▽Radical 164 (英語版) ラディカル

▽月報 2号 「岩佐作太郎の真骨頂」布留川桂

▽リペーロ 19号 (京都市左京区田中門前町二八—五 リペーロ社)

▽リベルテール 7月号

▽長野共同新聞 19号

▽日本アナキズム研究センター夏のキャン

プ—レジュメ—  
▽浦和市民新聞 15号  
▽哇ウエオ個人詩 4号

8月  
▽白夜通信 1号 「保安処分のイデオロ

ギー」若山幹夫 「革命における生活の問題」柏木令二

▽だらしねの旗 0号の2 (大阪市旭区高殿局留 だらしね舎) 「七夕は穢され

た—選挙という踏絵—」「亜州」  
▽非暴力直接行動 1号 (姫路市亀山三五

四向井方 戦争抵抗者インター日本部)  
▽月報 3号 「日本におけるクロボトキ

ン主義」信太裕  
▽汎世界運動 3号 (ろうみん社)

▽サルートン通信 165号・166号「助ッ人稼業五つの大切」上・下

▽リペーロ 20号  
▽リベルテール 8月号 「アナキズム方

法論(1)」坂入純二  
▽イオム討論資料 ③「各種組織体綱領」

(神戸市葺合区熊内町一—五—三前田幸長方 イオムの会)

▽アナキズム 4号

▽べらぼうな通信 6号 (東京・江東区大島二—三六—二米津方 ベラボーナ・グ

ル—ボ) 「文庫整理中間報告」向井孝  
▽Sol 企 2 2号 (東京・世田谷区代

田六—二七—三田中アパート一階 上村滋) 「韓国」とはどこにあるのか!

▽不定期便 10号 「大逆事件との出会い」  
▽サルートン通信 168号 「八月一五日の

朝と夜」  
▽バランカ 10号  
▽哇ウエオ個人詩

9月  
▽イオム 6号 「労働に関する断章・そ

の2」日野善太郎 「ある疑問のとおくち」中本弥三郎氏のことから—」寺島

殊雄 「江西—三とその時代・完」向井孝 「ハ詩」風景」山口英

▽れんげ通信 4号 (宇治市宇治蓮華九五北村方 大江音人) 「8・15反戦の夕」

▽サルートン通信 169号  
▽日々の泡 0号 (春日井市前並町字左右

分七一—二 上原美代子) 「泡のたつよどみから」 「書きかけて終った手紙」

▽クパール通信 0号(神戸市灘区岩屋北

町三丁目四—二戸田方 クパール)

「読者への手紙——クパール・グループ  
の出版にあたって——」

▽リベロ 21号

▽リベルテール 9月号

▽アナキスト陣営内の共働と連帯につい  
て(はしもとよしはる)

▽サルートン通信 170号 「家について」

▽日本無政府主義者連盟準備会ニュース1

(同連盟準備会)

▽哇ウエオ個人詩 6号

### 新刊書籍

6月

▽日本無政府共産党 相沢尚夫 海燕書房

▽黒いバリ 江口幹 筑摩書房

▽大杉栄集(近代日本思想大系20巻)

大沢正道・編・筑摩書房

7月

▽反体制エスぺラント運動史

大島義夫・宮本正男 三省堂

8月

▽石川三四郎の思想と生涯

学問と愛そして反逆 上巻  
愚かな彼、愚かな道 下巻

北沢文武 鳩の森書房

▽まず、ぼくたち自身を問題にしよう

向井孝・渡辺一衛／共編 大平出版社

▽安藤昌益(六月刊) 伊吉書院

アナキスト詩集

秋山 清編

海燕書房・刊

萩原恭次郎、岡本潤、小野十三郎、植村

諦、伊藤和、猪狩満直、秋山清、押切順三、

高島洋、向井孝。この10人の詩人の作品が

『アナキスト詩集』には収録されている。

編者・秋山清の『あとがき』によると、こ

のアンソロジーへの収録の基準は、「アナ

キズム運動の広い各現場における活動にも

かわわってきた、だから詩壇的な詩人とは

いささか離れ、そして割と力量ある詩人」

という点にそのいとぐちを求めることがで

きる。この比較的長い『あとがき』には、

この間秋山が精力的に論究して来た「アナ

キズム文学史」(人文芸展望74春号)をふま  
えて)簡潔に、しかもかなり濃密密度で  
語られている。

ほとんど変らない比重で並べられた戦前  
戦後のそれぞれ特色のある詩人達10人の作  
品によって読者がさし出されるのは、一見  
刺激的な本書のタイトルそのものよりも、  
『あとがき』にある次の言葉にちがいない。  
「しかし、ではこの本は過去を編纂したも  
のか、という問あらば私は否とこたえねば  
ならない。ここには戦後の詩人も登場し、  
彼らは戦後のそれぞれの地域におけるアナ  
キズム的な社会活動——反戦、平和、非  
暴力なる直接行動、反安保、反政治、反政  
党等々の活動に自分を投じつつ、そこから  
彼らの詩を生んでいる。失敗し、変貌し、  
なお『アナキスト詩集』に名を止める戦前  
先輩の跡を踏むまいと現実の努力をつづけ  
ている。」

ちなみに、収録された10人の詩人につい  
ては簡単な略歴があるだけで、その他に解  
説らしきものは全くといっていいほどない。